

# 学校文化祭でICT技術活用

## 日出学園中学・高校

市川市菅野の日出学園中学・高校(堀越克茂校長)で先月5日と6日、文化祭が開かれた。同校の文化祭は、2年前からICT技術を活用。今年も、AR(拡張現実)技術を活用したスタンプラリーや、AIロボット・ペッパーなどが大勢の来場者を楽しませていた。

同校のARスタンプラリーは、各ポイントに設置されたイラストをスマートフォンで読み込むと、生徒会が作成した動画や画像などが楽しめる仕組み。同校は今年3月、この取り組みが評価され、ICT技術を通してより良い教育の実現と人材

の育成に役立つ取り組みを表彰する「ICT夢コンテスト2018」(日本教育情報化振興会主催)で優良賞を受賞した。

今年のARスタンプラリーは、イラストをスマートフォンアプリで読み込むと、同校のオリジナルキャラクター・ヒロレンジャーと記念撮影できるもので、各ポイントでは来場者が友人同士で記念撮影をして楽しんでい

た。また今年も、来場者に文化祭の見どころやお薦めのスポットを紹介するよう生徒会がプログラミングしたペッパーを校内7カ所に設置。特に子供たちからの人気が高く、みんなペッパーの説明を聞きながら画面を楽し



ARスタンプラリーを楽しむ来場者たち

うにタッチしていた。飲食物などの販売ブースでも、昨年からの本格的にiPadアプリを活用。売上データを分析・集計し、少ない

ブースを校内放送などで宣伝した。売上データは後日、「情報の授業」で振り返りを行う。スタンプラリーの企画・運営や、ペッパー

のプログラミングなどは、生徒会が夏休みから準備を進めた。同校園生徒会議長の長坂新奈さん(高校3年)は「ARは難しいものではなく、手軽に楽しめるものだと遊びながら実感してほしい」と思って企画した。ペッパーの校内案内は簡単なプログラミングでできたけれど、プログラミン

グが苦手だったので少分、来場者が利用して当にうれしかった」と話していた。